

大隅 ワングン タイムズ

¥0
TAKE FREE

第3号



特集

鹿児島市 鹿児島中央駅

www.jr-odekake.net
JRおでかけネット



大隅の廃線跡をめぐる旅

付録 大隅東部歴史ロードマップ

九州新幹線が開業して博多駅と鹿児島中央駅間を最速で1時間19分で結んでいます。九州新幹線内は800系の車両を使った「つばめ」「さくら」で運行しています。

山陽新幹線経由で鹿児島中央駅と新大阪は3時間45分でN700系7000・8000番台の車両の「さくら」「みずほ」を使って運行されています。

便利になってあつという間に鹿児島中央駅に到着。

さあ、南国鹿児島にいたらのんびりしてみませんか？

たまにはローカル線を使ってのんびりと回南線経由で大隅半島まで足を延ばして、豊かな自然・食、歴史、文化、温泉などをのんびり堪能してみませんか？



特急「海幸・山幸」 Photo: Sanjo



特急「はやとの風」 Photo: Alt_winemaerik



特急「きりしま」 Photo: Tam0031

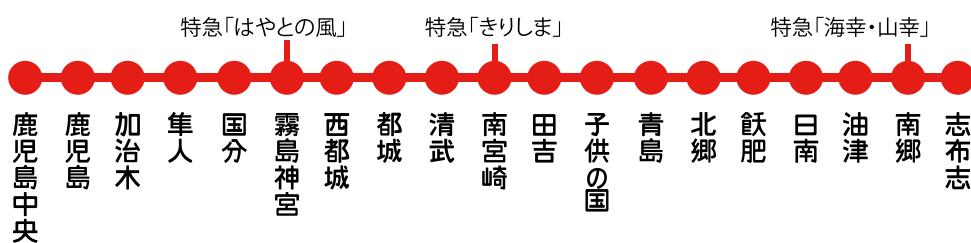
大隅半島の廃線跡を巡る旅を語る前に、鹿児島中央駅から日豊本線で南宮崎駅まで日豊本線ローカル、さらに大人気のJR日南線で志布志駅に運行している観光特急「海幸山幸」に乗り日南海岸を楽しんでみましょう。

ゆつくり旅をしようと思って、九州新幹線であつという間に鹿児島中央駅についてしまったら、この機会にJRに乗って南九州を制覇しましょう。日豊本線は、鹿児島中央駅→隼人駅→霧島神宮駅→吉松駅までを特急「はやとの風」が運行しています。さらに、隼人駅から南宮崎まで特急「きりしま」、南宮崎駅から観光特急「海幸・山幸」とたどれば十分に楽しめます。

ここまで、時間を気にせず楽しんじたいのですが、JR普通列車・快速列車が1日乗り放題になる乗車券が5枚セットになってくる「青春18きっぷ」

5回（人）までご利用できます。（複数人数でも利用可。複数人員の場合には同一行程となり、入出場の際には必ず青春18きっぷ本券が必要。）特急（新幹線含む）・急行列車、グリーン車に乗車する場合は特急券・急行券・グリーン券等必要なきっぷのほか、普通乗車券を別にお求めください。

時間にゆとりがある時は、すごくお得な乗車券です。



大隅半島に行こう！

今も残る大隅線のあしあと

大隅の鉄道のはじまり

明治44年（一九一二年）、鹿屋村（大正元年に町制、昭和16年に市制施行）を沿岸部と結び、鹿児島湾の航路により鹿児島市と連絡することを目的として、明治44年鉄道敷設の申請が出願され、肝付郡花岡村古江―鹿屋村中名の間6マイルで鉄道敷設の免許が交付された。

この路線を建設するために「南隅軽便鉄道（なんぐうけいべんてつどう）株式会社」が設立され、実際の工事は、高須―鹿屋の間を結びとりあえず鹿屋と海を連絡するために鉄道工事が行われて大正4年7月に開通している。開業にあたっては、深川造船所（福岡）に南隅軽便鉄道1形蒸気機関車、客車を発注した。

大正5年に南隅軽便鉄道株式会社が南隅鉄道株式会社となる。その後、高須―古江を後回しにして、大正9年に鹿屋―高山の区間、大正10年に高山―串良の区間を開通させた。

このころ高須は、古江に比べて外洋に近くて波が荒く、冬場に西風が吹くと入港が困難になることから鉄道との連絡機能がうまくいっておらず、垂水―古江方面から自動車や馬車で連絡する人も多く鉄道の経営は苦しかった。

ようやく大正12年に古江―高須の区間が開通し、一番最初の計画が完成し鉄道の業績も好転した。その後、鉄道敷設法などの国の動き、車社会の発達などから昭和10年に国鉄に買収され、国鉄古江線となった。

鹿屋市鉄道記念館（旧鹿屋駅）

鹿児島県鹿屋市共栄町20-2

TEL 0994-40-0078

開館時間 午前9時～午後4時30分

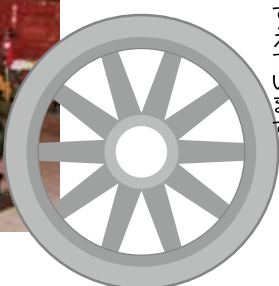
休館日 毎週月曜日
（祝日の場合は翌日）
12月29日～1月3日

指定管理者

公益社団法人 鹿屋市シルバー人材センター

TEL 0994-40-3382

（平成24年3月現在）



記念館の南隣には旧大隅線を走っていたディーゼルカーもどつかりと腰をすえています。

そのほか、昭和13年（一九三八年）、鹿屋市に国鉄が開通した当時の古い写真をはじめとして、懐かしい写真もいっぱい展示してあります。

館内には旧大隅線で使用した運賃表や信号機、保線区関係の工具など400点あまりがてんじしてあります。また大隅線を縮小し、旧大隅線・旧志布志線そして日豊本線をほぼ円形にした鉄道模型もあります。

半世紀にわたって、陸の孤島といわれた大隅半島の主要交通機関として、旅客・貨物輸送等を担ってきた国鉄大隅線。その歴史を伝えるために、昭和62年（一九八七年）3月に廃止された国鉄大隅線の鹿屋駅跡地に、昭和63年10月1日に鹿屋市鉄道記念館が建設されました。



国鉄キハ20形の気動車（ディーゼルカー）



車内には国鉄時代の吊り広告が残る



親子で楽しめる鉄道模型



館内には「さようなら大隅線」のヘッドマークも展示

吾平町鉄道資料館(旧吾平駅)

鹿児島県鹿屋市吾平町麓51番地1
指定管理者 (有)倉岡建設
TEL 0994-58-6074
(平成24年3月現在)

開館時間

第1・第3日曜日のみ開館
午前9時~午後6時
その他の日は、上記連絡先にお問い合わせください。

Nゲージを持参して、
ジオラマで遊ぼう!!



管理人のようにいろいろ資料館を案内してくれた畑中翔太さん(高校3年生 平成24年3月現在)、鉄道が大好きで、学校が休みの時には必ずと言っていいくらい資料館に弁当持参で足を運んでくれており、非常に鉄道に詳しい。彼に、カメラを渡して写真をとってもらったのが右のショット。

さすが、案内人は鉄道オタクに限る。



鉄道資料館は、私たちにたくさんさんの夢とロマンを与えてくれた大隅線の歴史を後世に伝えるとともに、鉄道の現状を紹介し、人々の交流、憩いの場となるように建設された。

写真撮影に行った時に、



自らを「テツ」と語る畑中君とジオラマ



吾平駅の様々な歴史がわかる年代表



客車のシートに座って本が読める図書コーナー



鉄道ファンにはたまらない電車シュミレーター



当時を偲ぶ、旧ホームとディーゼル



わかりやすい大隅半島の駅と路線図

国鉄廃線マップ

大隅線 志布志線





ホームに乘せられて、貨車に乘せられるのを待つ戦車



霧島ヶ丘公園・かのやばら園

志布志駅

日南線の終点駅(志布志駅)として、大隅半島最南端の現在も現役で活躍する志布志駅。当時を偲ばせる蒸気機関車とディーゼル車が近くの鉄道記念公園に展示してある。



この公園の保存車両は3台、国鉄C58形蒸気機関車、キハ52形気動車、ヨ8000形貨車(車掌車)があります。クリスマスの頃はイルミネーションに彩られます。

駅舎内には志布志市総合観光案内所が開設されている。(無人駅)

志布志市総合観光案内所
志布志市志布志町志布志2丁目28-11
TEL 099-472-2224 / FAX 099-479-3334
営業時間： 9:00～17:00
休 館 日： 年始1月1日・2日



高山鉄道記念公園(旧大隅高山駅)



今では公園になってしまっているが、ここは駅舎を残す形で当時の駅の中がわかるように保存されている。休憩所的な形で保存されているが、駅舎はきれいに掃除がしており、ゆつくり当時の風景に思いを馳せることが出来る。
線路と機関車があれば、今でも使えそう。



有明町鉄道記念公園(旧伊崎田駅)



▲ 当時の大隅線の様子



今回、湾岸タイムズで紹介している鉄道資料館・鉄道記念公園は、資料館として現在も存続しているもの、国鉄の車両が展示されているところを紹介しているが、マップを参考に巡ると、線路が残っている場所はないが、鉄橋やホーム、動輪などの手がかりがいっぱい残されている。線路だったところも、散歩道やサイクリングロードとして残っているところが隠されているので、カメラ片手にまわってみると、もっと発見があります。地域と共に歩んだ、大正年間からの歴史を感じます。



当時、東串良駅と串良駅は600mしか離れておらず、列車に乗り遅れても走って追いかければ間に合うたとか、「日本一短い駅区間」だったようです。

現在、駅跡には当時の車掌車が残されています。その横には、貨車から降ろされた荷物が次々と運び込まれていた石蔵が建っています。「東串良産業組合第4農業倉庫」と彫り込まれた当時のままの石蔵は、ローカル線廃止とともに取り壊される計画でしたが、東串良のある住民の「駅を歴史に残したい」との想いから買い取られ、現存しています。

もう二度と列車の走らない駅ですが、今はない線路に沿って、かつての東串良の日常に想いを馳せたくなっていくと、私たちが築くべき未来につながっていく気がします。

鉄道記念公園 (旧東串良駅)



今町鉄道記念公園(旧今町駅)

志布志線を辿っていくと、鹿児島県を出てすぐ、宮崎県都城市今町にあった今町駅(いままち)跡にたどりつく。

ホームと蒸気機関車だけの公園なのですが、この蒸気機関車が気に入った。

C12形蒸気機関車で、1934年(昭和9年)9月29日に完成し、北海道長万部を振り出しに、昭和49年5月3日に小樽機関区を最後に別れを告げ、昭和49年5月12日鹿児島県の吉松機関区にたどりつきました。

C1264号蒸気機関車。

他の蒸気機関車と比べて小型でキュートです。



鉄道記念館 (旧岩川駅)



曾於市商工会大隅支所商工会館
曾於市大隅町岩川6491-2
TEL 0994-82-1432



商工会館のなかにある資料館
(写真右) ワフ29500形貨車



写真提供:曾於市



鉄道記念公園(旧銅田駅 国分市)



末吉鉄道記念館(旧末吉駅)



志布志駅前広場がおもしろい!!

志布志 ぽっぽ市

新鮮野菜を格安販売・塩干物を販売
朝市・フリーマーケットを定期開催

■毎月第1日曜日開催

主催 しぶしぽっぽ倶楽部(旧駅前市場運営委員会)
お問合せ 志布志市総合案内所 TEL 099-472-2224

志布志湾岸 ファトコンテスト

The 湾岸
ファトコン

<http://www.thewangan.com>



■問い合わせ先
The 湾岸運営委員会 TEL: 099-473-2367 FAX: 099-473-2367
e-mail: shinohsumi@yahoo.co.jp 担当: 藤元

大隅東部歴史ロード

遺跡や横穴墓群など、太古の人々の証がしっかりと、時空を超えて残ってる。
一片の土器に、現代に残った古墳に、当時の暮らしを想像するのも浪漫である。

リナシティ
かのや

県道
68号

県道
539号

県道
73号

県道
539号

国道
448号

国道
220号

県道
508号

志布志駅

約36km(約5分)
※所要時間は時速40kmで計測

大隅半島の東部エリアには、歴史遺産や古墳等が多く点在しており、それらを活かしたドライブルート「大隅東部歴史ロード」を設定しました。このロード付近には、多くの歴史スポット等が点在していますので、同スポット巡りに御活用ください。



肝付町立歴史民俗資料館(肝付町)

塚崎古墳群の出土品などの歴史・考古資料を中心に展示してあります。

◎開館時間／9:00～16:30

◎休館日／毎週月・祝日(年末年始)

フェリーさんふらわあ(志布志-大阪)

古墳の出土品の展示施設

串良町歴史民俗資料館	鹿屋市串良町有里507-1	☎ 0994-63-5030
鹿屋市王子遺跡資料館	鹿屋市北田町11110番地1	☎ 0994-31-1138
輝北歴史民俗資料館	鹿屋市輝北町百引2635	☎ 0994-86-0505
大崎町中央公民館郷土資料室	大崎町仮宿1029	☎ 099-476-0548
肝付町立歴史民俗資料館	肝付町野崎1936	☎ 0994-65-0170
松山歴史民俗資料館	志布志市松山町秦野547	☎ 099-487-8154
末吉歴史民俗資料館	曾於市末吉二之方2020	☎ 0986-28-8051

大隅郷土館	曾於市大隅町中之内9146	☎ 099-482-2410
財部郷土館	曾於市財部町南俣460-1	☎ 0986-72-1111
曾於市埋蔵文化財センター	曾於市大隅町月野1946-1	☎ 099-471-2877
鹿児島大学総合研究博物館常設展示室		☎ 099-285-8141
鹿児島県上野原縄文の森		☎ 0995-48-5701
旧吉松家住宅	串間市大字西方5509-イ	☎ 0987-72-6511

中尾地下式
横穴墓群から
出土した全長72cmの
象嵌装太刀

【編集後記】

大隅半島(おおすみはんとう)の鉄道の歴史は、大正4年南隅軽便鉄道株式会社の高須一鹿屋間路線開通に始まり、昭和62年日本国有鉄道大隅線・志布志線廃止とともに終わる。

鉄道好きな人にとっては鉄橋や線路、ホーム、機関車などが各地に残っており、線路跡もよく観察すると鉄道設備がそのままになっていたりとところろがたまらない。

新幹線開業にあわせて観光特急列車などが新設されたり、蒸気機関車が復活したりと鉄道に関する話題も多いことから、廃線になった大隅半島の国鉄の経路をたどってみた。

非常に手入れの行き届いた施設から風化してしまっているものまでさまざまですが、カメラ片手に、線路跡をサイクリングでまわるのも楽しそうであった。

のんびりとした大隅の田園風景にマッチした蒸気機関車の姿は今では公園で見ることができなくなりましたが、歴史を記す意味でも大事に保存したい。(ほり)

発行 社団法人 新大隅青年会議所
〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志2-242-3
TEL:099-473-2378 / FAX:099-473-2367
E-MAIL: sin-ohsumi@s6.dion.ne.jp
編集 おおすみ東風隊(志布志観光ガイド、おおさき観光案内所、豊栄ひととべ会)
〒899-7302 鹿児島県曾於郡大崎町神領2419番地
TEL:099-477-2400 / FAX:099-477-2407
デザイン ZO CREATIONS
〒893-1605 鹿児島県鹿屋市串良町上小原4939-6
TEL / FAX:0994-63-0137 / HP:080-1348-6597

「大隅半島東部観光大キャンペーン事業」鹿児島県大隅地域振興局業務委託H23年
発行部数 2万部 / フリーペーパー(無料配布)

大隅のFM放送は全局ネットワーク、インターネットでも聞くことができます。

FMかのや77.2MHz FMきもつき80.2MHz FM志布志78.1MHz FMたるみず77.7MHz

おおすみ東風隊 presents

みごろ、たべごろ、大隅こっち隊

毎週金曜日 おひる12:30から30分

再放送日 毎週木曜日よる22:00～22:30 土曜日あさ08:30～09:00

大隅の観光を中心に、旬のおいしいもの、歴史、ポイントなど見どころを話題に30分間のトーク番組です。リスナーの皆様からのお便り、リクエストなどお待ちしております。また、地域の情報もお寄せください。

番組に関するご意見、ご要望、リクエストなどは下記の事務局までお願いいたします。



事務局 おおさき観光案内所

TEL 099-477-2400
FAX 099-477-2407

www.ohsumi.info

志布志観光ガイド TEL 080-6448-2010
おおさき観光案内所 TEL 099-477-2400
特定非営利活動法人
豊栄ひととべ会 TEL 0994-63-2127

mail@ohsumi.info

ohsumi wangan times No.3